

工 事 番 号	部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設計年度	令和5年度					
施工月日	令和 年 月 日					
施工方法	請 負					
工事期間	三原市 糸崎八丁目					
				交付金		設 計 書
工 事 概 要				起 工 理 由		
施工内容 施工延長 L=80.0m 断面修復工 V=0.2m ³ ひび割れ補修工 N=1構造物 吸出し洗堀対策工 一式 炭素繊維貼付工 A=162.0m ² 仮設工 一式						

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市糸崎八丁目 道路構造物補修工事（市道糸崎114号線）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

- ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ・ **特記仕様書（共通事項）（令和5年8月）広島県**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

第2節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)，(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第3節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、 「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

第2章 施工条件

第1節 用地

1 現場の復旧
原形復旧とする。

第2節 工事用道路

1 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時30分～17時
工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第3節 その他

1 工事用機資材の仮置き
場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査
受注者は、補修箇所洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

1 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

2 法定外の労災保険 の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

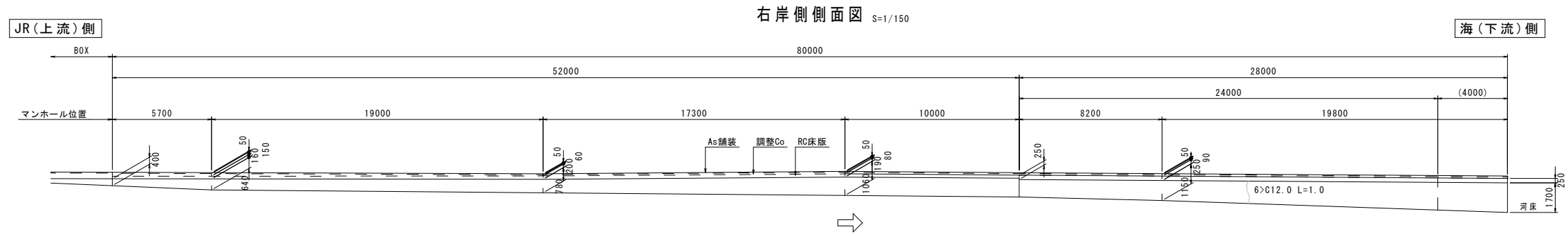
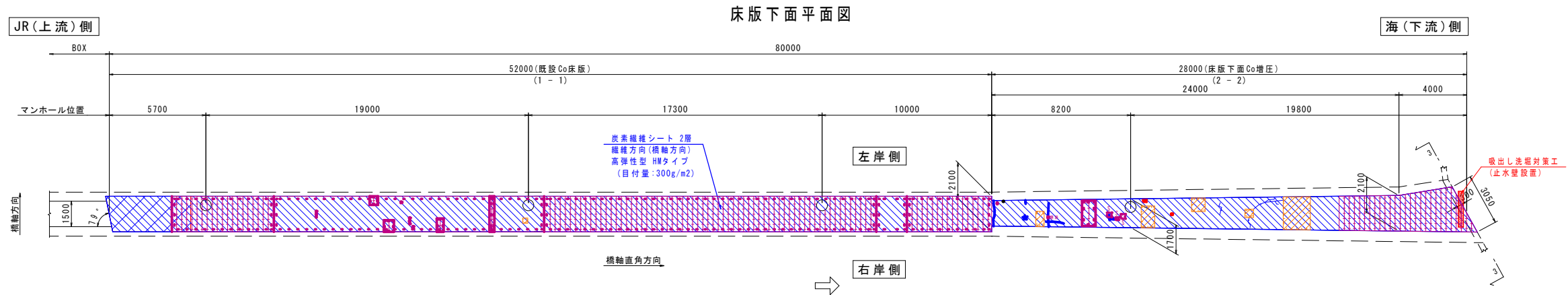
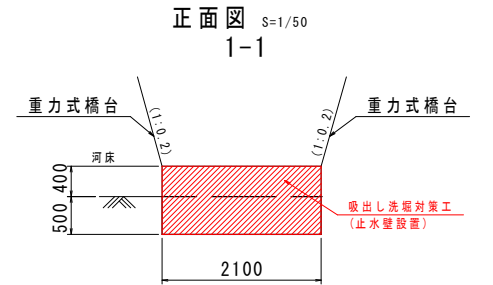
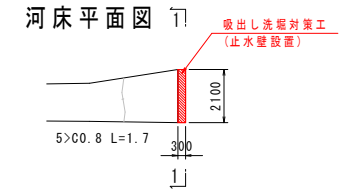
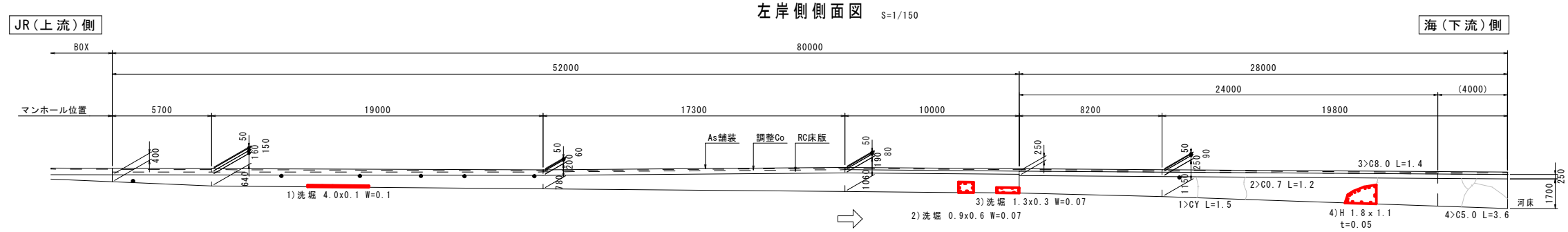
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り(掘削)	【岩塊・玉石】	式	1	レベル4
チップング工	【岩盤面】	式	1	レベル4
吸出し洗掘対策工		式	1	レベル3
止水壁工	【24-12-25(20)BB】	式	1	レベル4
橋梁床版工		式	1	レベル2
床版補強工(炭素繊維接着工法)		式	1	レベル3
はつり工		m2	162	レベル4
下地処理		m2	162	レベル4
不陸調整工		m2	162	レベル4
下地処理		m2	162	レベル4
プライマー	【エポキシ樹脂プライマー】	m2	162	レベル4
不陸修正		m2	162	レベル4
炭素繊維シート接着		m2	324	レベル4
仕上げ塗装	【エポキシ樹脂・ウレタン樹脂】	m2	162	レベル4

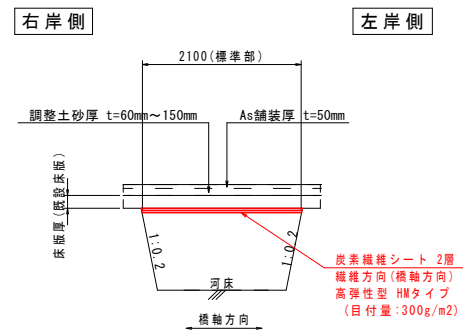
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
充てん工法	【ポリマーセメントモルタル】	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
はつり工		m2	2	レベル4
左官工法	【ポリマーセメントモルタル】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】	構造物	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【無筋コンクリート殻】	m3	0.1	レベル4
殻処分	【無筋コンクリート殻】	m3	0.1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
土留・仮締切工		式	1	レベル3
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	【土砂】	式	1	レベル4
残土等処分		式	1	レベル4
水替工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	4	レベル4

(糸崎114号線)補修一般図



断面図 S=1/50



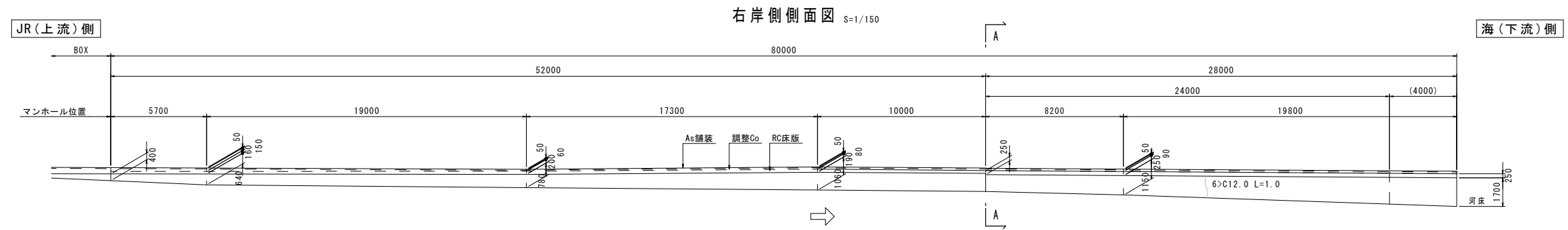
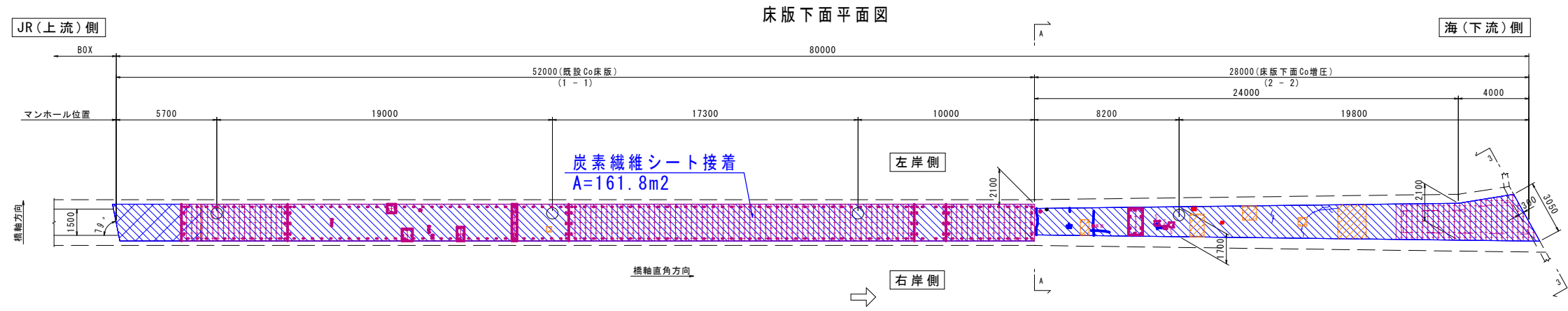
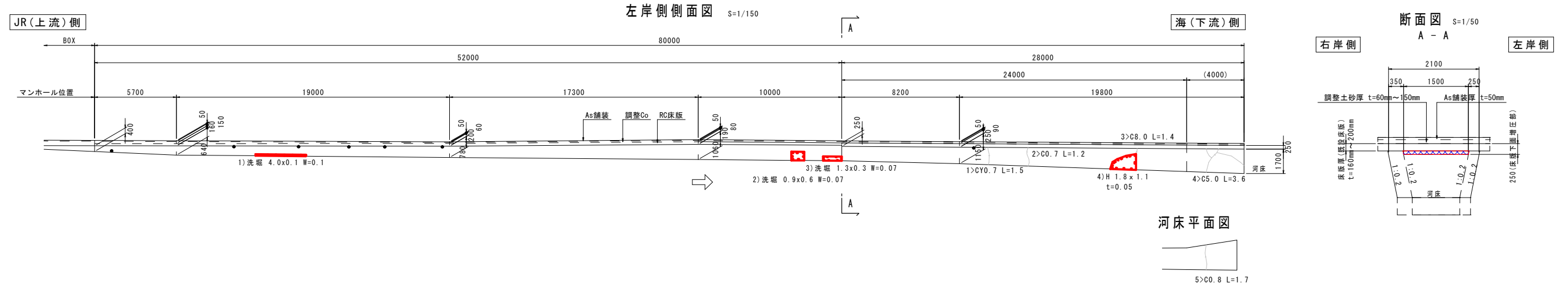
補修項目一覧表

工種	補修項目	補修部位	損傷対策	摘要
床版	炭素繊維貼付け工法	床版下面全範囲	耐荷性能回復(主鉄筋全損分の置換え)	さび安定化防錆工法
下部工(橋台)	断面修復工	橋台	剥離・欠損・洗堀	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	ひびわれ充填工	橋台	ひびわれ(無筋コンクリート)	ポリマーセメントモルタル(充填工法)
河床	吸出し洗堀対策工	吐口部河床	潮の干満に伴う吸出し洗堀	止水壁設置工

- 注記)
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
 3. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
 7. 防錆材は差り残しがないよう入念に行うこと。
 8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と炭素繊維シートとの間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。

図面番号	1 / 2	縮尺		図示
工種	道路構造物補修工事			
種別		番号		
路線名 河川	市道糸崎114号線			
工事場所	三原市糸崎八丁目			
	三原市			

(糸崎114号線)補修図



凡例

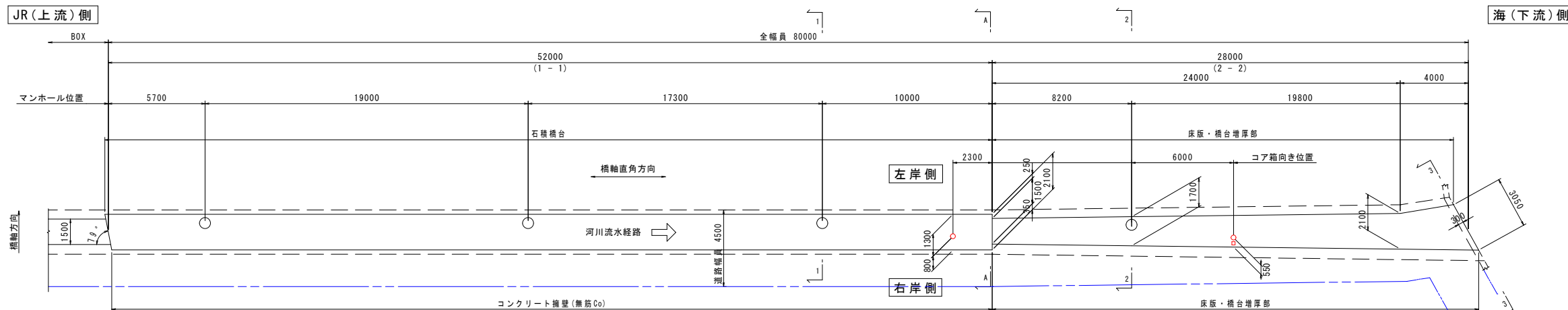
C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)	HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)	S	錆跡
C	ひび割れ(1.0mm以上)	Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)	R	漏水
U	コンクリートの浮き	M	ジャンカ
H	コンクリートの剥離	HA	被覆剥がれ

図面番号	2 / 2	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号		
路線名 河川	市道糸崎114号線		
工事場所	三原市糸崎八丁目		
	三原市		

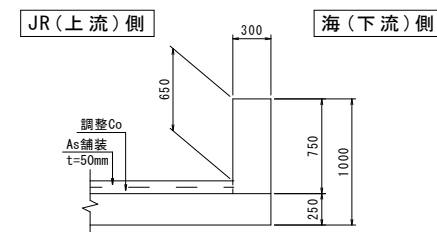
(糸崎114号線)既設床版一般図

平面図 S=1/150

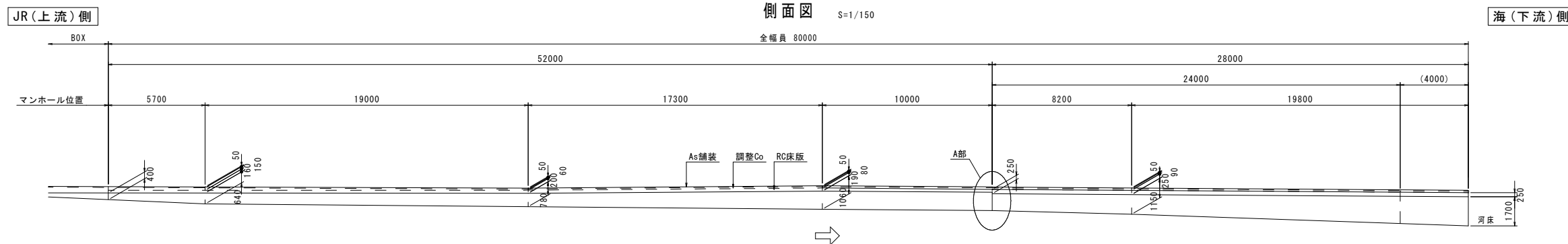
床版下面



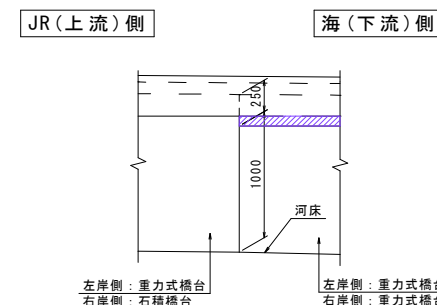
防波堤詳細図 S=1/30



側面図 S=1/150

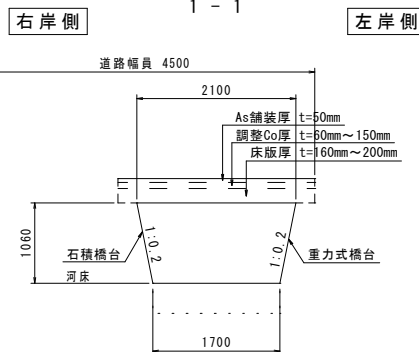


A部詳細図 S=1/30



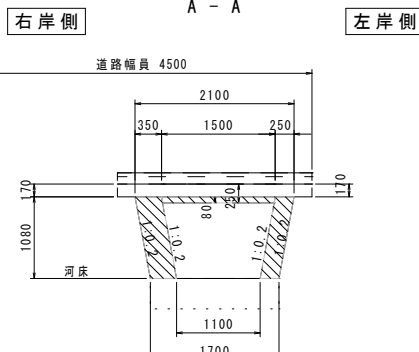
断面図 S=1/50

1-1



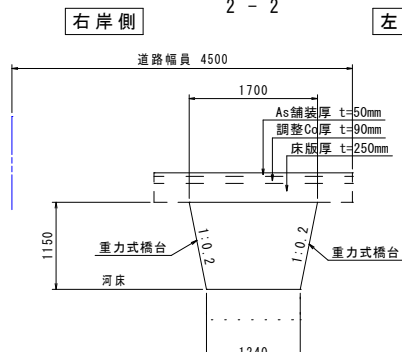
断面図 S=1/50

A-A



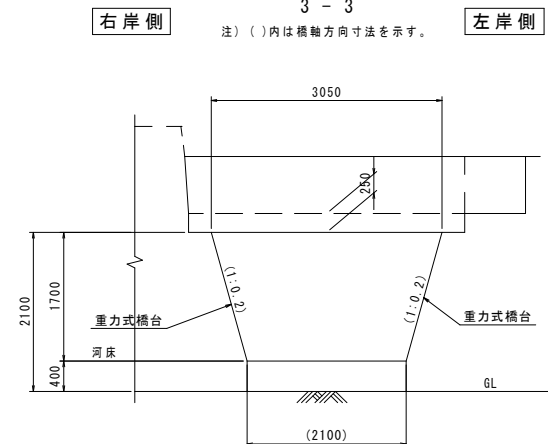
断面図 S=1/50

2-2

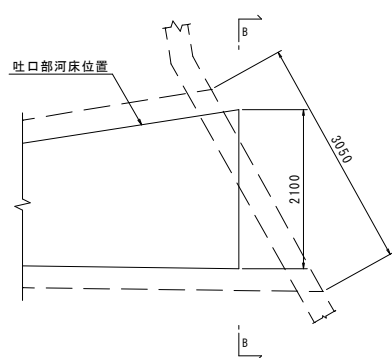


断面図 S=1/50

3-3

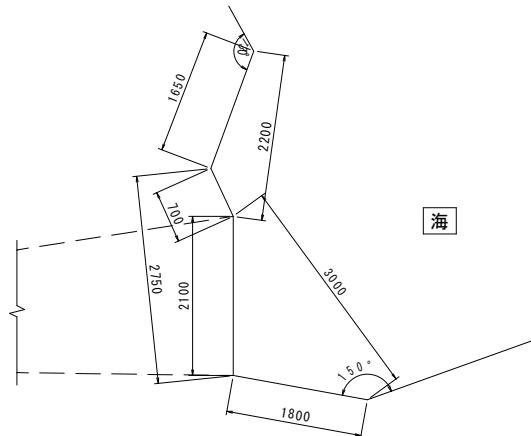


吐口部地形位置図 S=1/50



吐口部地形図 S=1/50

B-B



設計条件

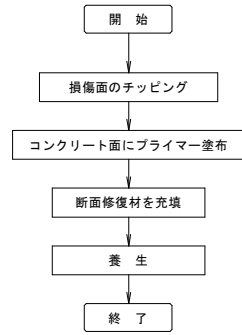
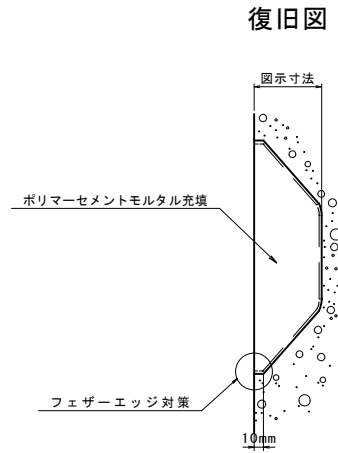
路線/交差物	三原市糸崎八丁目市道
道路規格	市道糸崎114号線
橋格	不明
設計荷重	不明
橋長(内空幅)	1.500m~2.100m(石積部 2.100m)
延長	全幅 80.000m
上部工形式	RC床版
下部工形式	重力式橋台+石積橋台
竣工年	不明
適用示方書	不明

注:本図面は現地寸法調査にて作成した図面である。

図面番号	1 / 4	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号		
路線名	市道糸崎114号線		
工事場所	三原市糸崎八丁目		
	三原市		

(糸崎114号線)補修詳細図

断面修復工詳細図
(左官工法)



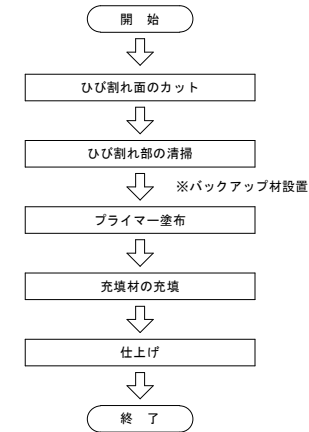
工種	仕様
プライマー	新旧打継用エポキシ系接着剤相当
断面修復工	ポリマーセメントモルタル

ひびわれ充填工詳細図

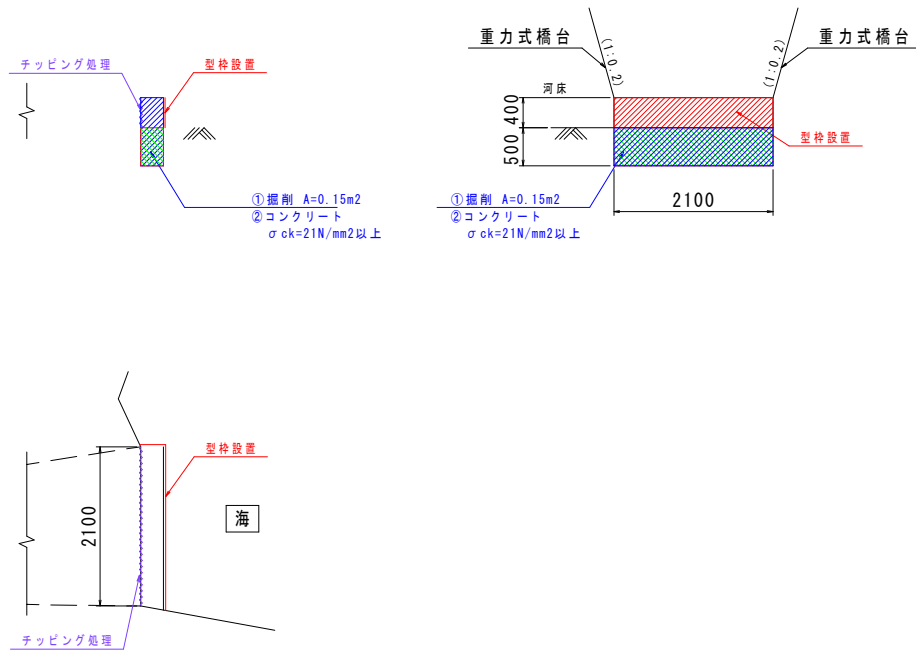
※バックアップ材は3mm以上のひび割れが認められる場合は設置する。
 注記)
 1. ひび割れ面カット後は切粉等をワイヤブラシ、刷毛等で入念に除去・清掃する。
 2. プライマーは溝内部に刷毛等で塗り残しがないように均一に塗布する。
 3. 充填材充填時には空隙がないよう加圧しながら充填し既設部と密着させ表面を平滑処理する。

工種	仕様
ひびわれ充填工	ポリマーセメントモルタル

施工フロー

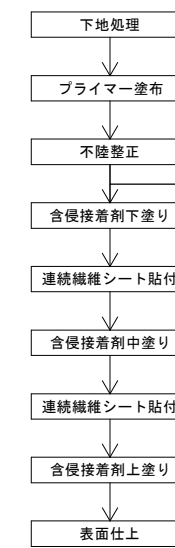


吸出し防止対策(止水壁)詳細図 S=1/50



炭素繊維シート詳細図

施工フロー

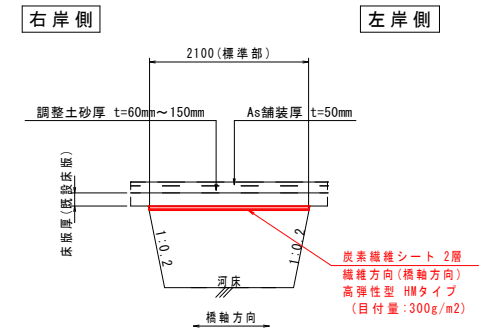


不陸修正での平滑処理が困難な場合は別途、断面修復対策を講じること。

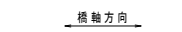
炭素繊維シート性能表

炭素繊維シート種類	高強度型HMタイプ
ヤング係数	6.40×10^5 N/mm ²
引張強度	1.90×10^3 N/mm ²
繊維目付け量	300 g/m ²
設計厚さ	0.143 mm

断面図 S=1/50



繊維方向



炭素繊維シート2層
繊維方向(橋軸方向)
高強度型HMタイプ
(目付量:300g/m²)

注記)

- 本図面は、既存資料をもとに作成した図面である。
- 施工時には、天候に十分注意をすること。
- 補強工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 補強工法および補強範囲は、調査結果により決定しているが、はつり後に再度確認し最適な工法があれば再検討を行うこと。
- 既設部の下地処理を行い平坦性を確保する処理を行うこと。
- はつり後に必要であればクラック処理及び断面修復を行い炭素繊維シートに悪影響が生じないこと。
- 資材仮置き場所等は発注者と協議の上、決定すること。
- 水位が上昇や海水の流入等で危険と判断される場合は作業中止して避難し、再度協議の上で対策検討を講じること。

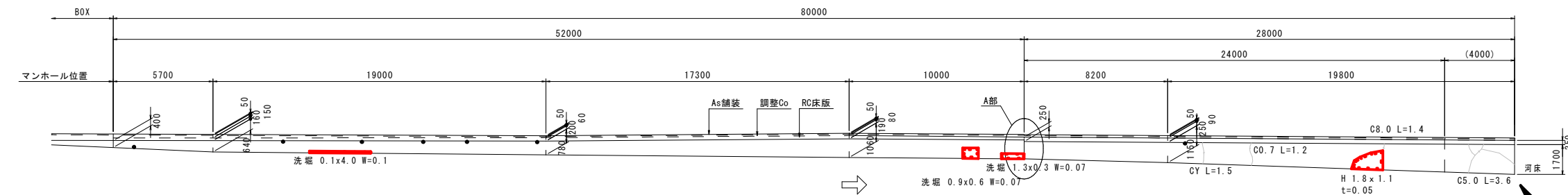
図面番号	2 / 4	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号		
路線名 河川	市道糸崎114号線		
工事場所	三原市糸崎八丁目		
三原市			

(糸崎114号線) 損傷図

JR(上流)側

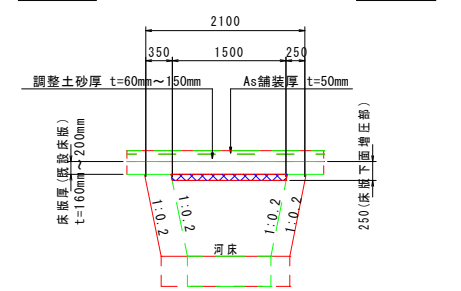
左岸側側面図 S=1/150

海(下流)側

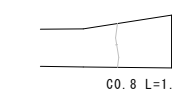


断面図 S=1/50

A-A

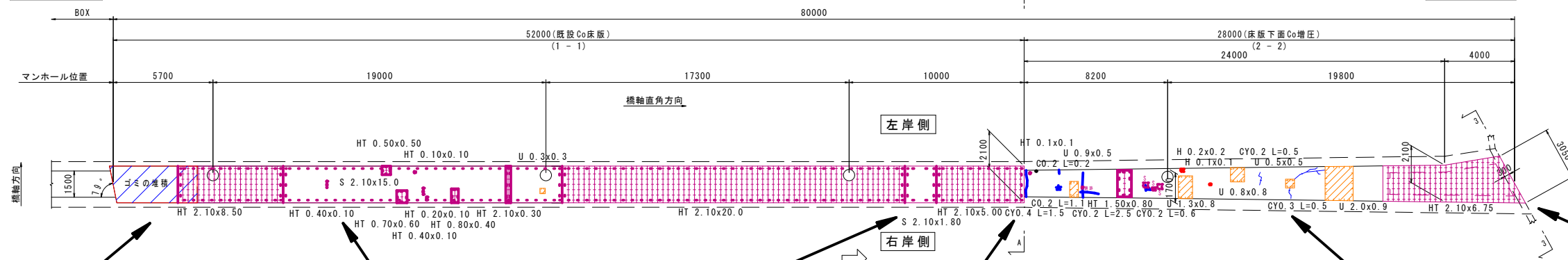


河床平面図



床版下面平面図 S=1/150

JR(上流)側



河床下部土砂吸出に伴うひびわれ



ゴミの堆積・床版下面状況(鉄筋破断有)



広範囲におよぶ錆跡・局部的な鉄筋露出



表層剥離による鉄筋腐食(鉄筋減厚有)



海岸部床版下面増圧・橋台前面拡幅



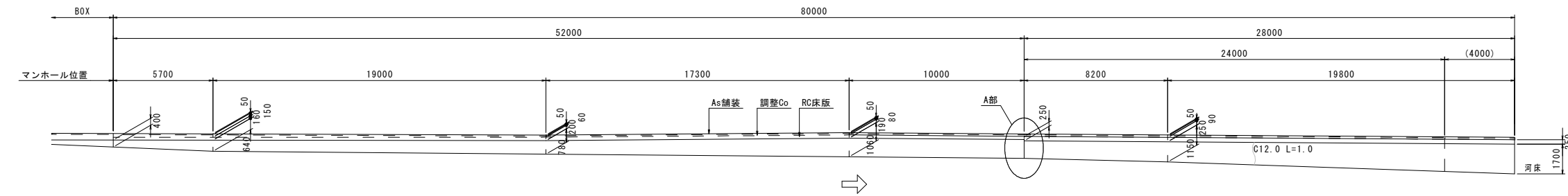
海岸部床版下面増圧部: 錆跡、うき、ひびわれ



海岸部床版下面増圧部: 剥離鉄筋露出(鉄筋破断)

右岸側側面図 S=1/150

JR(上流)側



海(下流)側

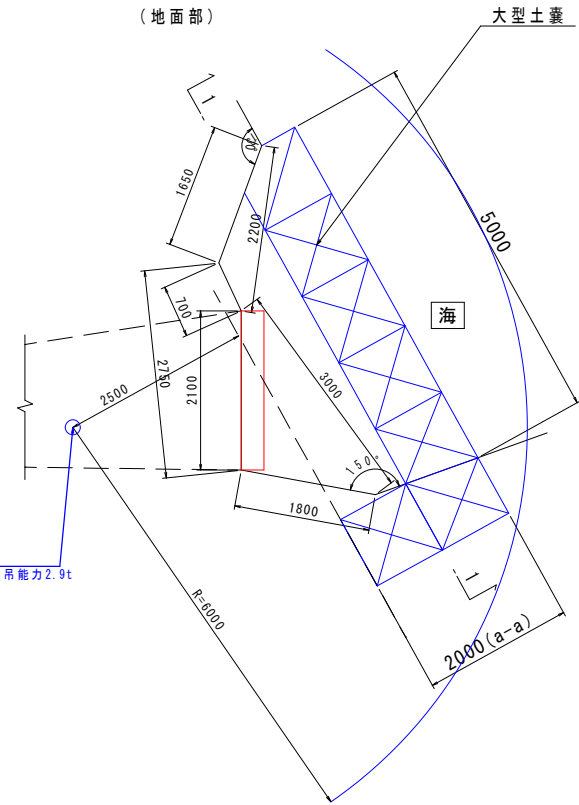
凡例

	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)		コンクリートの剥離・鉄筋露出
	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)		錆跡
	ひび割れ(1.0mm以上)		遊離石灰又はエフロレッセンス
	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)		漏水
	コンクリートの浮き		ジャンカ
	コンクリートの剥離		被覆剥がれ

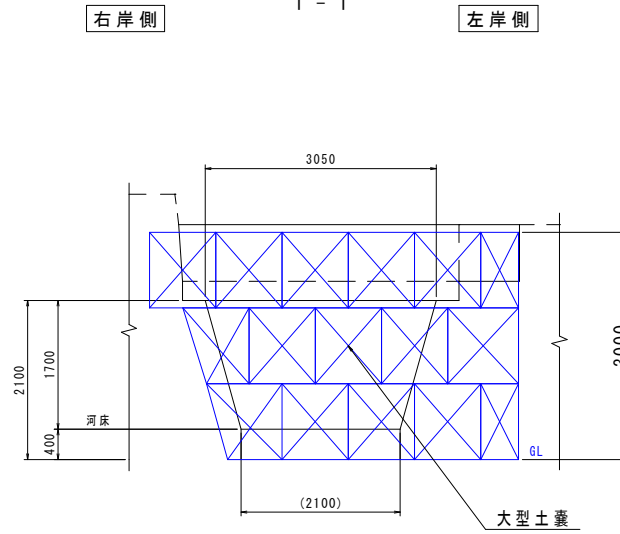
図面番号	3 / 4	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号		
路線名	市道糸崎114号線		
工事場所	三原市糸崎八丁目		
	三原市		

(糸崎114号線)仮設図 (海水流入対策) 参考図

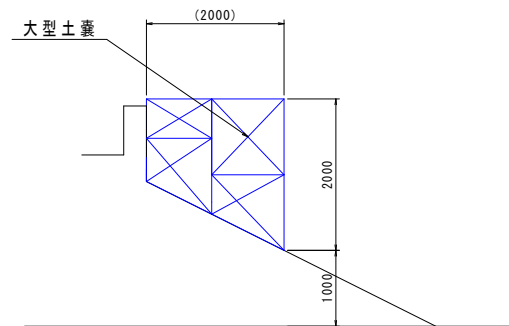
吐口部地形図 S=1/50
(地面部)



断面図 S=1/50
1 - 1



側部地形図 S=1/50
a-a



大型土嚢 (1000x1000mm)
A1=5.0m x 3.0m = 15.0m²
A2=2.0m x 2.0m = 4.0m²
Σ A=19.0m²=19袋

- 注)
1. 本図面は海水の干満時における橋梁内への流入抑制対策として提案する。
 2. 流入時には作業を抑制することを推奨する。
 3. 施工においては退水期施工とする。
 4. 河川水量は少量でありポンプ排水等を用いし排水を施す。
 5. 本道路は活荷重G1までの適用道路であり重機選定に考慮が必要となる。
 6. 本図面は参考図であり施工時において懸念が生じる場合は発注者と協議の上、対策を講ずること。

図面番号	4 / 4	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	番号		
路線名 河川	市道糸崎114号線		
工事場所	三原市糸崎八丁目		
三原市			

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-05.09.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
排水構造物工	1	式			Y1G0305 レベル2
作業土工	1	式			Y1G030501 レベル3
床掘り(掘削) 【岩塊・玉石】	1	式			Y1G03050101 レベル4
掘削 岩塊・玉石 現場制約あり	0.3	m3			SPK23040001 00
チップング工 【岩盤面】	0.3	m3			単第0 -0001 表 Y1G03050102 レベル4
チップング(岩盤面・打継面)	0.8	m2			S2030063 00
吸出し洗掘対策工	0.8	m2			単第0 -0002 表 Y1G030507 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
止水壁工 【24-12-25(20)BB】	1	式			Y1G03050701 レベル4
コンクリート 小型構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.6	m3			SPK23040154 00 単第0 -0003 表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.0	m2			SPK23040156 00 単第0 -0004 表
橋梁床版工	1	式			Y1G0318 レベル2
床版補強工(炭素繊維接着工法)	1	式			Y1G031803 レベル3
はつり工	162	m2			Y4999 レベル4
コンクリートはつり 平均はつり厚3cm以下	162	m2			SPK23040116 00 単第0 -0005 表
下地処理	162	m2			Y4999 レベル4
下地処理 高圧水洗浄	162	m ²			S1244 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
不陸調整工					Y4999 レベル4
	162	m2			
不陸調整工 10mm未満 100m2以上300m2未満					SG1C1505001 00
	162	m2			単第0 -0007 表
下地処理					Y1G03180301 レベル4
	162	m2			
下地処理工					S3030063 00
	162	m2			単第0 -0008 表
プライマー 【エポキシ樹脂プライマー】					Y1G03180302 レベル4
	162	m2			
プライマー工 全面貼り					S3030065 00
	162	m2			単第0 -0009 表
不陸修正					Y1G03180303 レベル4
	162	m2			
不陸整正工 全面貼り					S3030067 00
	162	m2			単第0 -0010 表
炭素繊維シート接着					Y1G03180304 レベル4
	324	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
炭素繊維シート接着工 全面貼り	324	m2			S3030069 00 単第0 -0011 表
仕上げ塗装 【エポキシ樹脂・ウレタン樹脂】	162	m2			Y1G03180305 レベル4
仕上げ塗装工	162	m2			S3030071 00 単第0 -0012 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
充てん工法 【ポリマーセメントモルタル】	1	構造物			Y1G03240401 レベル4
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	1	構造物			S1020031 00 単第0 -0013 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
はつり工	2	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートはつり 平均はつり厚3cm以下	2	m2			SPK23040116 00 単第0 -0005 表
左官工法 【ポリマーセメントモルタル】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.204m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0014 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【無筋コンクリート殻】	0.1	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間有り 運搬距離1.6km以下	0.1	m3			SPK23040152 00 単第0 -0015 表
殻処分 【無筋コンクリート殻】	0.1	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 無筋コンクリート殻受入費	数量	単位	単価	金額	備考
	0.2	t			F9002 00
仮設工					Y1G0328 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1G032804 レベル3
土のう	1	式			Y1G03280419レベル4
	19	袋			
大型土のう製作・設置(BH設置)					SHD10003 00
	19	袋			単第0 -0016 表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下					SHD10011 00
	19	袋			単第0 -0018 表
購入土					F9001 00
	19	m3			
残土処理工					Y1G030310 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土砂】					Y1G03031002レベル4
	19	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	19	m3			SPK23040002 00 単第0 -0020 表
残土等処分	19	m3			Y1G03031003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	19	m3			F9003 00
水替工	1	式			Y1G032806 レベル3
ポンプ排水 【排水量 0以上40未満 (m3/h)】	59	日			Y1G03280601レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0021 表
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 常時排水	59	日			S1050031 00 単第0 -0023 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1G03282101レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

頁0 -0013

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0003 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.19%

労務構成比:

40.17%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

30,518.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.96%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	53.56%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0004 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

コンクリートはつり

SPK23040116

単第0 -0005 表

平均はつり厚3cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.61%

労務構成比: 94.73%

材料構成比: 3.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,733.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.57%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.59%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

不陸調整工
10mm未満

SG1C1505001

単第0 -0007 表

100m2以上300m2未満

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.7	人			
左官	8.1	人			
特殊作業員	3.3	人			
普通作業員	2.7	人			
ポリマーセメントモルタル	1	m3			
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 天井部 C=2 100m2以上300m2未満 E=1 【F】断面修復用モルタル(m3)			B=1 10mm未満 D=1 断面修復用モルタルの使用量 (m3/100m2)		

施工単価表

下地処理工

S3030063

単第0 -0008 表

頁0 -0020

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
特殊作業員	7.700	人			
諸雑費	2	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

不陸整正工
全面貼り

S3030067

単第0 -0010 表

頁0 -0022

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.000	人			
特殊作業員	6.000	人			
普通作業員	4.000	人			
エポキシ樹脂パテ	146.000	kg			
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 全面貼り C=6 【F】エポキシ樹脂パテ(kg)			B=2	エポキシ樹脂パテ(各種)	

施工単価表

炭素繊維シート接着工
全面貼り

S3030069

単第0 -0011 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.800	人			
特殊作業員	8.300	人			
普通作業員	5.500	人			
繊維補強シート	107.000	m2			設計量 × (1+ロス率)
エポキシ樹脂レジン	85.000	kg			0.85*100
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 全面貼り D=3 炭素繊維シート【登録単価CODE】(m2) F=2 エポキシ樹脂含浸材(各種) H=1 -			B=5 炭素繊維シート(各種) E=2 目付量 300(g/m2) G=4 エポキシ樹脂含浸材【登録単価CODE】(kg)		

施工単価表

仕上げ塗装工

S3030071

単第0 -0012 表

頁0 -0024

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.100	人			
特殊作業員	3.400	人			
普通作業員	2.300	人			
仕上材 中塗り エポキシ樹脂系	20.000	kg			中塗り
仕上材 上塗り ウレタン樹脂系	16.000	kg			上塗り
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 エポキシ樹脂塗料(各種) C=2 ウレタン樹脂塗料(各種)			B=7 D=8	【F】エポキシ樹脂塗料(kg) 【F】ウレタン樹脂塗料(kg)	

100

m2 当り

施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0015 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離1.6km以下

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,045.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=7 運搬距離1.6km以下		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0016 表

頁0 -0028

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			1*0.278
特殊作業員	0.278	人			1*0.278
普通作業員	0.278	人			1*0.278
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			単第0-0017 表
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

10 袋 当り

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0020 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,106.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=37 距離14.0km以下(11.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

5.1 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	合 計	備 考
断面修復工	断面修復	左官工法	コンクリートはつり	m ²	2.0	
			運搬・処分	m ³	0.1	
			処分費	t	0.2	
			ポリマーセメントモルタル	m ³	0.204	
ひびわれ充填工	ひびわれ充填	延べ施工量		m	10.4	
		Vカット	15mm × 15mm	m	10.4	
		ひびわれ充填材	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.001	
吸出し洗堀対策工	止水壁設置	人力掘削(床掘)	岩塊・玉石混り土	m ³	0.3	
		チップング工	深さ30mm未満	m ²	0.8	
		型枠工	無筋構造物、小型構造物	m ²	1.0	
		コンクリート工	小型構造物	m ³	0.6	21-12-40 W/C=55%
炭素繊維シート 接着補強	炭素繊維シート	下地処理	10mm程度のはつり	m ²	162	※はつり後、凹凸を不陸調整で対策困難な場合は、別途対策を講じる。
		プライマー塗布		m ²	162	
		不陸整正	エポキシ樹脂パテ	m ²	162	
		炭素繊維シート接着	高弾性繊維シート 目付量300g/m ² 2層	m ²	324	(1層当り162m ²)
		仕上げ塗装工	中塗り：エポキシ樹脂塗料 上塗り：ウレタン樹脂塗料	m ²	162	各1層
仮設工	大型土嚢	製作・設置・撤去	大型土嚢 1m ³	m ²	19	N=19袋

5.2 断面修復工

断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

(1) コンクリートはつり

$$A = 1.9800 = 1.980 \text{ m}^2$$

(2) 運搬・処分

$$V = 0.09900 = 0.099 \text{ m}^3$$

(3) 処分費

$$W = 0.0990 \times 2.3 = 0.228 \text{ t}$$

(4) 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

$$V = 0.20410 \times 1.00000 = 0.204 \text{ m}^3$$

5.3 ひびわれ充填工

(1) 延べ施工量

$$L = 10.400 = 10.400 \text{ m}$$

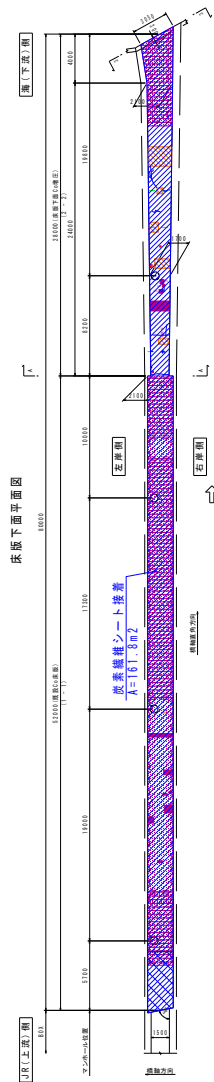
(2) Vカット (15mm × 15mm <ひびわれ幅最大>)

$$L = 10.400 = 10.400 \text{ m}$$

(3) ひびわれ充填材 (ポリマーセメントモルタル)

$$W = 0.015 \times 0.015 \times \frac{1}{2} \times 10.400 \times 1.00 = 0.001 \text{ m}^3$$

5.4 炭素繊維シート接着工



下地処理

プライマー塗布

不陸調整

含侵接着剤下塗り

連続繊維シート貼付

含侵接着剤上塗り

表面仕上

不陸調整での平滑処理が困難な場合は別途、断面修復対策を講じること。

- ①下地処理工②プライマー工③不陸調整工④炭素繊維シート接着工
⑤仕上げ塗装工

$$A = (\text{図面参照}) = 161.8 \text{ m}^2/\text{層}$$

※炭素繊維シートにおいては高弾性繊維シート2層とする。

5.5 吸出し洗掘対策工

- (1) 人力掘削(床掘)〈岩塊・玉石混り土〉

$$V = (0.500 \times 0.300) \times 2.100 = 0.315 \text{ m}^3$$

- (2) チップング工〈深さ30mm未満〉

$$A = 0.400 \times 2.100 = 0.840 \text{ m}^2$$

- (3) 型枠工(無筋構造物、小型構造物)

$$A = (2.100 + 0.300) \times 0.400 = 0.960 \text{ m}^2$$

- (4) コンクリート打設 (21-12-40 W/C=55%)

$$V = 0.900 \times 0.300 \times 2.100 = 0.567 \text{ m}^3$$

5.6 仮設工（大型土嚢 製作・設置・撤去）

(1) 大型土嚢 製作・設置・撤去

$$\begin{aligned} A1 &= 5.000 \times 3.000 &= 15.000 \text{ m}^2 \\ A2 &= 2.000 \times 2.000 &= 4.000 \text{ m}^2 \\ \Sigma A &= &= 19.000 \text{ m}^2 \\ \text{大型土嚢1袋当り } 1\text{m}^3 &&= 19 \text{ 袋} \end{aligned}$$

位置図



34.386727887763804, 133.11270468935217

この図は、地理院地図を利用したものである。